

Estuary 050



エスチユアリ

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチユアリ…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

展示資料のひみつ

この標本は、筆者がジャンケンで勝ち取りました。10年前に北海道えりも町で開催された学会の、懇親会のジャンケン大会の賞品です。地元の猟師が仕留めたものを、しばらく野外に晒しておいて白骨化させたものだとか。

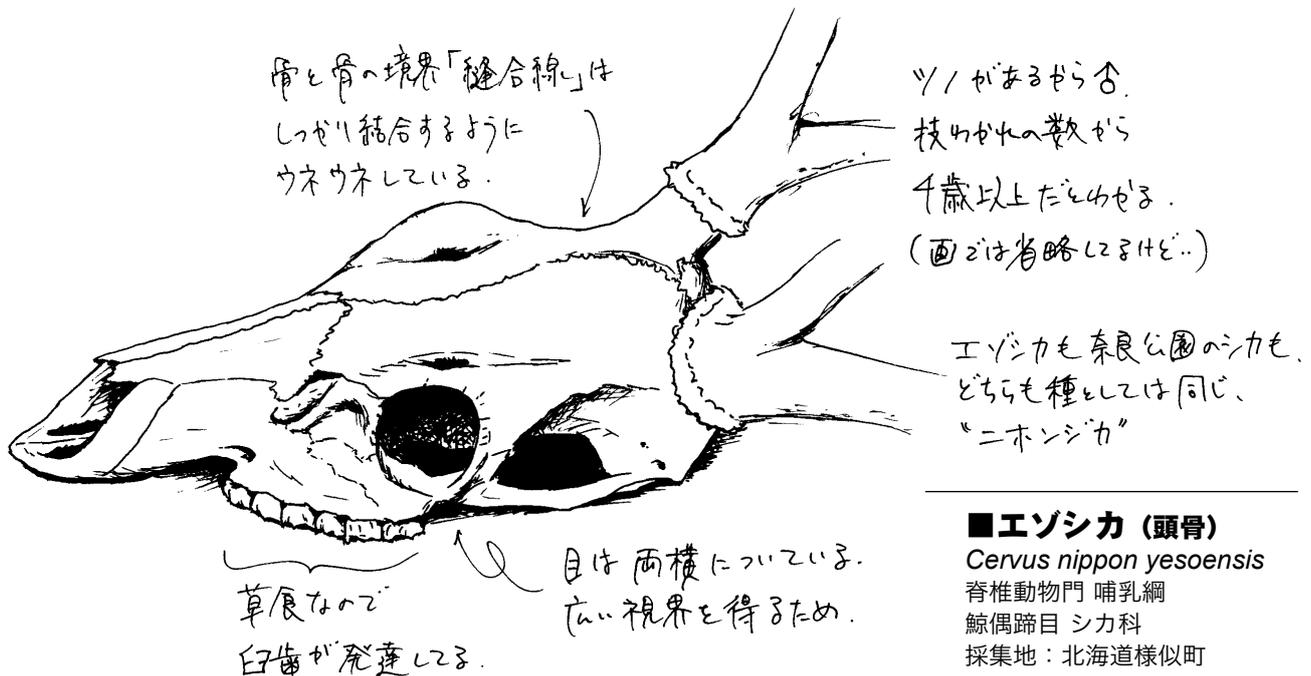
いろいろな動物の頭の骨は、進化の道筋、生活や行動を物語ってくれます。たとえば頭を構成している「部品」。哺乳類の頭骨は、頭頂骨、上顎骨などなど、20~30個くらいの骨の集まり（ヒトは耳と舌を入れると29個）です。頭全体の形は似ていなくても、使っている「部品」の種類ほとんど同じ、と言っていいくらい。

一方、目や口には違いが現れます。肉食動物はハンター

として立体視ができるように、両目が前を向いているし、シカのように襲われる側の草食動物は、左右に横向きに目が付いています。周囲を警戒できる広い視界を得るためです。歯の形は、食べるものによってバラエティに富んでいます。肉食動物は鋭い牙とギザギザの奥歯。草食動物は植物の繊維をすり潰すため、噛み合わせ面の広い臼歯を持っています。

シカやウシ、ブタなど、蹄（ひづめ）が2本か4本の哺乳類は、かつては偶蹄目（ウシ目）と分類されていました。ところが近年はDNA解析が進み、海の哺乳類のクジラ・イルカが、祖先は偶蹄類のカバと非常に近いことがわかりました。そのため今では、鯨類と偶蹄類をひっくるめて「鯨偶蹄目」と呼ぶようになってきています。◆

(志賀 健司 しがけんじ)



■エゾシカ (頭骨)

Cervus nippon yesoensis

脊椎動物門 哺乳綱

鯨偶蹄目 シカ科

採集地：北海道様似町

紀要？ なにそれ。論文？ ムズカしい… なんて、言わないでください！ 石狩の自然や歴史を未来に伝えるためには、「客観的な事実をもとにする」「曖昧な表現をしない」記録が必要なのです。

最新の第6巻には、自然から歴史まで、石狩に関わる9つの研究成果が載っています。どんなことが書かれてるのか、著者に聞いてみましょう。今年はこの論文をピックアップ！

石狩川河口左岸域におけるヒキガエルの定着について (内藤華子・志賀健司) pp.65-70.

Q. ズバリ、この研究は何をやって、何がわかったの？

内藤「石狩の海岸沿いの地域では、2005年からヒキガエルが目撃されるようになりました。そんな目撃情報を集めて整理したところ、石狩浜周辺にヒキガエルが定着するようになったのは5年前、2011年からであることが明らかになりました。その頃から、海岸近くにある小さい沼で、どっと増えたんです。」

Q. ヒキガエルって、北海道にはいないの!?

内藤「もともと北海道にいたカエルは、アマガエルとエゾアカガエルの2種だけなんです。ヒキガエルは、明治時代に函館で見つかり、1990年代には旭川などで、見つかりました。」

Q. どうして今は、いるの？

内藤「カエルは津軽海峡を渡れないから、人が持ち込んだはずなんです。いつ誰が、は、わかりません。ヒキガエルは食べられないし毒も持っているから、好んで持ち込むこともない気がしますが…。石狩で広がった原因も断言はできませんが、旭川から石狩川を流れ下ってきた可能性が高いですね。」

Q. ところで、ヒキガエルがいると何かダメ？ 動物が増えて、いいんじゃない？

内藤「ヒキガエルは地表性の昆虫など小動物を食べます。だから、その地域のもとの食物連鎖、生態系を乱してしまいます。石狩浜周辺は、海浜植物群落や大規模なカシワ林など、自然な状態が残されている貴重な海岸です。そこにはイソコモリグモやエゾアカヤマアリ、世界でも石狩と青森でしか見つかっていない甲殻類のキ



はまなすの丘あずまや付近で撮影されたヒキガエル (撮影：石狩浜定期観察の会)

タハウネンエビなど、希少な生物がたくさんいます。もしかしたら、それらが食べられてしまうかもしれません。本当に食べるかどうかはわからないけど、そんな事が起きちゃってからでは遅い、取り返しがつかないんです。」

Q. イソコモリグモやキタハウネンエビがいなくなったら、大変！ これからどうすればいいかな？

内藤「この春から、市民有志で駆除活動『ヒキガエルバスターin石狩浜』を始めました。沼に産卵に来た親ガエル、産まれた卵やオタマジャクシを駆除しています。でもこれは何年も続けないと効果は出ません。また、石狩に来たヒキガエルが、実際に何を食べてしまうのかが気になります。胃の内容物を調べてみないとはいけませんね。」



「いしかり砂丘の風資料館紀要」は、第1巻から石狩市民図書館などで読むことができます。また、資料館ホームページからもPDFファイルをダウンロードできます。

<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/publication.html>

■石狩市広報に連載「いしかり博物誌」

☞第141回 (2016年1月号)
12万年前への階段

☞第142回 (2016年3月号)
市指定文化財石狩紅葉山49号遺跡出土の木製品

☞第143回 (2016年5月号)
絵はがきの表側

☞第144回 (2016年7月号)
石狩浜は漂着物の季節

石狩市広報のPDFから読めます↓
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/publication/publication_top.html

2016年の講座・展示

講座

種類	講座名	開催日	場所
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／春の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	4月24日 終了!	石狩浜、砂丘の風資料館
体験講座	テンキ作りーハマニンニクを編む アイヌの工芸品「テンキ」を作ります。 満員御礼	7月23日(土)	砂丘の風資料館 
体験講座	勾玉作り 古代のお守り・装飾品の勾玉を作ります。	7月31日(日)	砂丘の風資料館
体験講座	昆虫標本をつくる 海岸草原で昆虫を採集し、標本を作ります。	8月6日(土)	砂丘の風資料館
体験講座	サケ切身骨格標本をつくる サケの切身から部分骨格標本を作ります。	9月17日(土)	砂丘の風資料館 
トークイベント	ウミベオロジー／石狩海辺学2016 海と陸との境界、海辺。その不思議や魅力を語ります。	10月1日(土)	紀伊國屋書店札幌本店 
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／秋の海辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	10月16日(日)	石狩浜、砂丘の風資料館
体験講座	縄文の川と暮らしをジオラマで作ろう 当時の道具を観察し、その暮らしをジオラマにします。	10月29日(土)	砂丘の風資料館
講演会	縄文の暮らしと石器 ー石狩紅葉山49号遺跡出土の石器使用痕分析からわかることー 講師：高瀬克範さん(北海道大学大学院准教授)	11月3日(木・祝)	石狩市民図書館
体験講座	フライドチキン骨格標本をつくる フライドチキンから部分骨格標本を作ります。	12月17日(土)	砂丘の風資料館 
連続講座	石狩大学博物館学(全2回、4科目) 石狩の自然や歴史について、最新の研究成果を紹介。	1月予定(土)	石狩市民図書館
野外講座	石狩ビーチコーマーズ／冬の家辺の漂着物 海辺の漂着物を観察・採集します。	2月予定(日)	石狩浜、砂丘の風資料館

展示

種類	展示名	開催期間	場所
テーマ展	石狩の絵はがきから見た戦前の石狩	4/28～5/30 終了!	砂丘の風資料館
テーマ展	海辺のホネ図解／ネズミルカのすべて	7/16～9/4	砂丘の風資料館
テーマ展	石狩紅葉山49号遺跡の舟と櫂	9/21～11/23	砂丘の風資料館
テーマ展	資料館のお宝2017	12月下旬～3月	砂丘の風資料館

※講座は申込が必要です(一部を除く)。
※日程・内容は変更になることがあります。

詳しくは、砂丘の風資料館ホームページ、
石狩市広報誌などをご覧ください。

石狩市民図書館 
いしかり砂丘の風資料館 
石狩浜海浜植物保護センター 
石狩市公民館  …って？
→石狩市内の「〇〇館」4つがタッグを組んで、
みなさんの生涯学習活動をサポートします！

 …って？
→札幌周辺の博物館や動物園、
図書館などがコラボ！
ホンモノの標本をたくさん使って
自然や環境の教育をススメます！

2016年夏の講座・展示

体験講座

テンキ作り～ハマニンニクを編む～

石狩の海辺に見られるハマニンニクの葉を材料に、アイヌの工芸「テンキ」作り挑戦し、小かごを作ります。自由研究にも、ぜひご利用ください。

- 日時 7月23日(土) 10:00～16:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学4年生～大人 (小学生は保護者同伴で)
- 定員 10人 (先着順)
- 持ち物 エプロン、タオル (汚れてもよいもの)、
昼食、飲物
- 参加料 無料
- 申込 7/1 (金)～7/18 (日) の間に電話で資料館へ
(0133-62-3711)

7月開催



満員御礼

体験講座

勾玉作り

勾玉とは、古代の人々が石などで作った、魔除け・装身具として身に付けていたものです。岩手県久慈の再生琥珀か、滑石の、どちらかを選択して作ります。(再生琥珀は数量限定)。製作は、ボランティア (いしかり砂丘の風の会) がお手伝いします。

- 日時 7月31日(日) 10:00～12:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館
- 対象 小学生以上 (低学年は保護者同伴で)
- 定員 20人 (先着順)
- 費用 再生琥珀:1,300円、滑石:500円
(材料は申込時に選択。材料費・保険料込み)
- 持ち物 大きめのレジ袋
- 申込 7/1 (金)～7/18 (月・祝) の間に電話で資料館へ
(0133-62-3711)

7月開催



体験講座

昆虫標本をつくる

昆虫は好きだけど、標本の作り方がわからない…? 昆虫の専門家が方法を教えてくれます! 小学生の夏休みの宿題から、大人の知的な趣味までOK! 石狩の海岸草原で昆虫を採集し、石狩の自然を未来に伝えるための標本を製作します。昆虫の専門家が教えてくれます!

(作った標本は資料館で2週間ほど乾燥させます。)

- 日時 8月6日(土) 10:00～16:00
- 場所 いしかり砂丘の風資料館、野外
- 講師 山本亜生さん (小樽市総合博物館学芸員)
- 対象 小学4年生～大人
- 定員 10人 (先着順)
- 持ち物 捕虫網、虫かご、昼食、
野外活動 (草原・林) に適した服装
- 参加料 無料
- 申込 7/1 (金)～7/31 (日) の間に電話で資料館へ
(0133-62-3711)

8月開催



テーマ展

海辺のホネ図解
ネズミイルカのすべて



イルカの指は何本? 後ろ足がある!? 海の哺乳類ネズミイルカの骨を、前上顎骨からV字骨まで1頭分、まるごとぜんぶさらけ出し、進化の秘密に迫ります。

- 期間 7月16日(土)～9月4日(日)
- 場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。(大人300円)

7月開始

編集後記

地域の姿を正確に未来に伝えるのは、標本だけ。写真は外見の一面にすぎず、文字化した記録は誰かの解釈が入っています。何十年、何百年の後には、もう真の姿は取り戻せない。博物館の本分に立ち返ります。BACK to ザ・標本! (け)

いしかり砂丘の風資料館

- 開館時間 午前9時30分～午後5時00分
- 休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 入館料 大人:300円、中学生以下:無料
団体料金240円(15名以上)
- 交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、
「石狩温泉」下車、徒歩1分
(石狩温泉「番屋の湯」となり)

エスチユアリ No.50



2016年7月15日発行

いしかり砂丘の風資料館
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4
TEL/FAX: 0133-62-3711
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/